

第307回 番組審議会

1. 日 時 令和4年 1月 18日 (火) 12:00～
2. 場 所 メトロポリタン盛岡NEW WING
3F「星雲東の間」
3. 委 員 委員総数 8名
出席委員数 7名

○ 出席委員 (敬称略)

鈴木 厚人 (委員長)
近藤 一英 (副委員長)
—以下50音順—
石田 征広
佐々木 泰司
平野 順子
八木橋 伸之
渡邊 佳隆

○ 会社側出席者

齋藤 秋水 (代表取締役社長)
高嶋 昇 (常務取締役)
一戸 俊行 (取締役)
君澤 温 (取締役総務局長)
佐々木 雄祐 (岩手めんこいテレビ報道部担当部長)

○ 事務局

近谷 利政
岩渕 博美

4. 議題 「FNSドキュメンタリー大賞
奇跡と呼ばれなくなる日まで～震災10年 釜石の軌跡～」
放送日時：令和3年5月29日（土）
14：30～15：25

5. 議事概要

今回は、5月29日（土）に放送した『FNSドキュメンタリー大賞 奇跡と呼ばれなくなる日まで～震災10年 釜石の軌跡～』について審議しました。

●岩手めんこいテレビ報道部担当部長佐々木からの説明

学校防災は大切なテーマと考え、釜石の事例について取材をすすめていたこと、大川小学校の遺族との交流の様子については、テレビ局ではめんこいテレビだけが取材することができたことなど、制作の経緯を説明

●出席した委員からの意見

- ・論点を一瞬で映像で紹介できるのは、テレビの凄さ。よくまとまっていた
- ・過去の検証、未来の伝達、次世代につながる良いメッセージになっていたのでないか
- ・10年間命に向かい続けてきた人たちの思いが伝わって、非常に説得力があった
- ・報道のあり方を改めて考えさせられた
- ・災害を風化させないためにも継続して取り上げてほしい
- ・学校防災の教材になるのではないか

●委員からの質問、意見に対する会社側からの回答

- ・学校防災、防災教育というテーマは、震災を知らない子どもたちも増える中では、当然増々大切なテーマになってくると思っています。亡くなってしまった方に報いるためにも、しっかり伝え続けていきたいと思えます。

6. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置

特になし

7. 審議機関の答申意見概要を公表した場合におけるその公表内容、方法及び年月日

※令和4年1月19日（水） 産経新聞 東北版

※令和4年1月29日（土）午前5時57分から6時まで
「めんこいテレビ番審リポート」として放送。

※据え置き書類を作成し、本社受付、各支社に備置き一般の人々が自由に閲覧できるようにした

9. その他の参考事項

特になし

次回は、令和4年2月8日(火)12時より開催予定です。